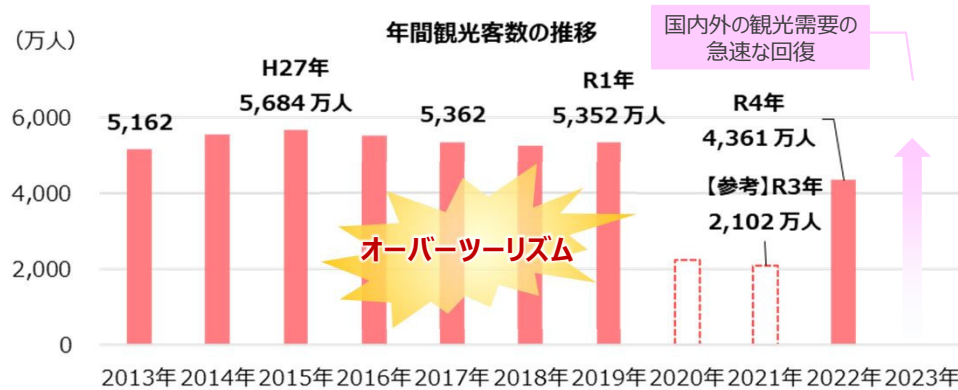


京都観光を取り巻く情勢を踏まえた 今後の方向性について

- 国内外の観光需要は急速に回復して観光地が賑わいを取り戻している一方、京都市においても**オーバーツーリズムの再燃が懸念**されている。
- また、観光立国実現に向けて**国の目標（2030年訪日外国人旅行者数6000万人）**が設定され、これまで以上の増加が想定される。

■京都市における観光需要の状況

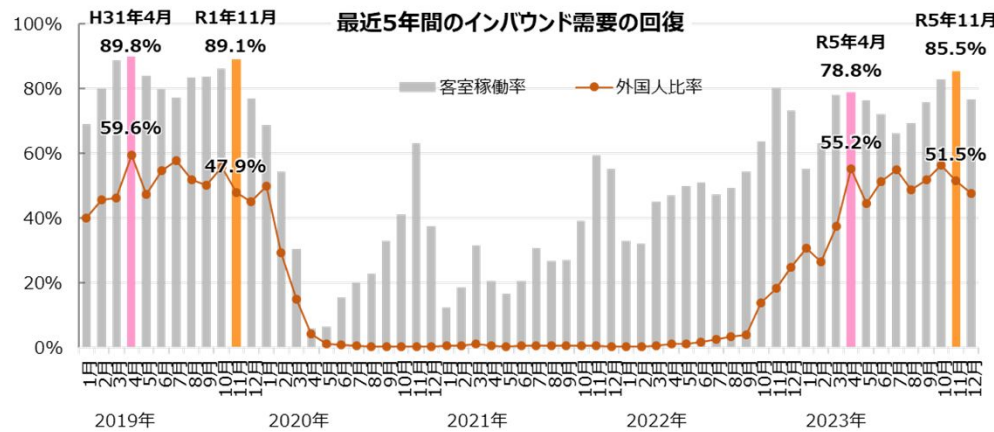


※資料：「京都観光総合調査」（京都市産業観光局）を基に作成
 ※2020年及び2021年は京都市の独自推計であり、他の年との時系列による比較はできない

■国を挙げた観光立国実現に向けた取組の推進

「観光先進国」への新たな国づくりに向けて、平成28年3月「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」（議長：内閣総理大臣）において、新たな観光ビジョンを策定し、以下の目標を設定。

訪日外国人旅行者数	2020年： 4,000万人 (2015年の約2倍)	2030年： 6,000万人 (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	2020年： 8兆円 (2015年の2倍超)	2030年： 15兆円 (2015年の4倍超)
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年： 7,000万泊 (2015年の3倍超)	2030年： 1億3,000万泊 (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2020年： 2,400万人 (2015年の約2倍)	2030年： 3,600万人 (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	2020年： 21兆円 (最近5年間の平均から約5%増)	2030年： 22兆円 (最近5年間の平均から約10%増)



※資料：「京都市観光協会データ年報」（京都市観光協会）を基に作成



※資料：「訪日外客統計」（日本政府観光局）を基に作成 ※2030年は観光庁の目標値

国内外の観光需要の急速な回復 ⇒ オーバーツーリズムの問題が再燃
観光立国実現に向けて政府が国の目標を設定 ⇒ 更なるインバウンドの増加（2030年 6,000万人）

- 懸念される問題に対して、混雑情報システム等の**情報提供によって観光客の分散・誘導を図り、令和2～4年のような分散状況を目指す。**
- また、今後の更なるインバウンド観光需要に対応するため、ICT・AIを活用しながら**現状把握等の調査分析を進めるとともに、実態を見える化する**ことによって**即効性のある抜本対策を実施しやすい環境を整える。**

■京都市が抱えるオーバーツーリズムによる課題と当面の方針

- 一部の地域・時間・時期に観光客が集中することによって生じる
観光地・道路・市バス車内の混雑や京都駅への利用者の一極集中
- 文化・習慣の違いによる観光客によるマナー問題
- 京都観光に関わる全ての関係者（観光事業者等、観光客、市民）の満足度向上、好循環の創出

R2～4年の分散状況を目安として、情報提供システムによる分散化を図る

- 観光客の分散化を促すための「**混雑情報システム**」の構築
- 過度な集中を抑制するための「**駐車場予約システム**」の構築

■観光立国実現を見据えた実態把握

- コロナ禍以前の京都市年間観光客数は**5,352万人（2019年）**
- 2019年の訪日外国人旅行者数は**3,188万人**であり、
観光立国実現に向けた国の目標値は約2倍の6,000万人

今後の更なるインバウンド
観光需要に対応するため

ICT・AI等の技術を活用しながら、**現状把握等の調査分析を進めるとともに、実態を見える化する**ことによって**即効性のある抜本対策を実施しやすい環境を整える**（流入抑制等の需要調整や受入環境の整備・強化等）

■情報提供による観光客の分散化イメージ



	観光総合調査							観光客の動向に係る調査		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
年間観光客数(万人)	5,162	5,564	5,684	5,522	5,362	5,275	5,352			4,361
清水・祇園周辺	34.8	40.9	51.0	51.3	56.4	47.7	53.9	48.6	41.4	40.2
京都駅	37.0	48.7	44.6	51.7	53.0	50.4	46.1	39.5	26.5	32.9
河原町三条・四条周辺	34.5	32.7	29.4	28.8	28.7	32.4	30.3	28.9	26.3	26.0
嵯峨嵐山周辺	38.3	43.6	48.8	26.8	26.5	22.7	23.2	29.5	26.6	19.6
二条城・壬生周辺	2.4	6.3	6.8	10.9	18.9	14.5	15.9	27.2	15.3	18.9
伏見周辺	7.6	5.9	11.3	15.3	15.8	15.0	14.8	19.8	9.5	12.3
きぬかけの路周辺	6.5	13.8	17.6	16.6	16.7	15.2	15.8	10.9	14.7	11.8
岡崎・蹴上周辺	14.8	14.5	18.5	20.7	15.2	14.9	13.4	17.5	15.8	11.7
東山七条周辺	7.6	14.4	21.1	14.6	20.7	14.3	15.6	20.2	13.6	11.3
銀閣寺・哲学の道・百万遍周辺	8.2	11.4	19.2	12.5	12.6	10.0	11.5	11.5	8.1	7.6
京都御所周辺	2.1	4.7	5.7	8.1	8.4	7.9	8.3	8.8	5.7	6.2
西陣・北野周辺	2.9	5.5	8.6	6.9	8.0	9.0	8.0	6.3	6.0	6.1
松尾・桂周辺	3.2	4.7	4.7	4.2	3.6	3.5	4.3	3.4	3.2	3.3
大原・八瀬周辺	1.4	2.3	4.3	3.1	3.2	2.1	2.1	5.5	5.7	2.9
高雄周辺	4.7	4.7	3.3	1.6	1.3	1.3	1.3	3.5	5.6	2.2
山科周辺	7.3	3.4	2.7	2.2	3.3	2.5	2.2	2.4	1.5	1.5

域内分散
回遊性向上



- 混雑状況の可視化するためのモニタリング環境の整備するとともに、駐車場予約システムの構築に向けた検討・調整を進める。
- 統合型プラットフォームの実装を見据えて情報提供サービスの展開するとともに、ICT・AIを活用した現状の実態把握を進める。

■今後の検討方針(案)

- ### 1 混雑状況の可視化による観光客の分散・誘導

 - ✓ 混雑状況の可視化・マップ化による観光地の分散・誘導
 - ✓ 観光地や歩行空間等のモニタリング環境の整備
- ### 2 需要集中を抑制するための駐車場予約システムの構築

 - ✓ 駐車場予約システムの構築・試験運用
 - ✓ 京都版・駐車場予約システムの実装に向けた検討
- ### 3 実装段階に向けた情報提供サービスの展開【実証実験】

 - ✓ 情報発信ツール（WEBサイト等）の構築・運営
 - ✓ 情報発信スポットの設置・情報発信
(路上・バス停サイネージ等)
- ### 4 ICT・AIを活用した道路交通の現状把握および対策支援

 - ✓ 交通状況のリアルタイムモニタリング環境の整備
 - ✓ 観光地周辺で発生する交通渋滞の実態把握
 - ✓ 実態の見える化による抜本対策の必要性や課題の整理

■観光地・公共交通機関等の混雑状況の可視化（観光ヒートマップ）



■京都市の観光課題解決に資するマネジメント手法の検討



※ 道路交通以外の観光課題の解決に向けた関係各所の取組みについても適時、現状分析等の支援を行う

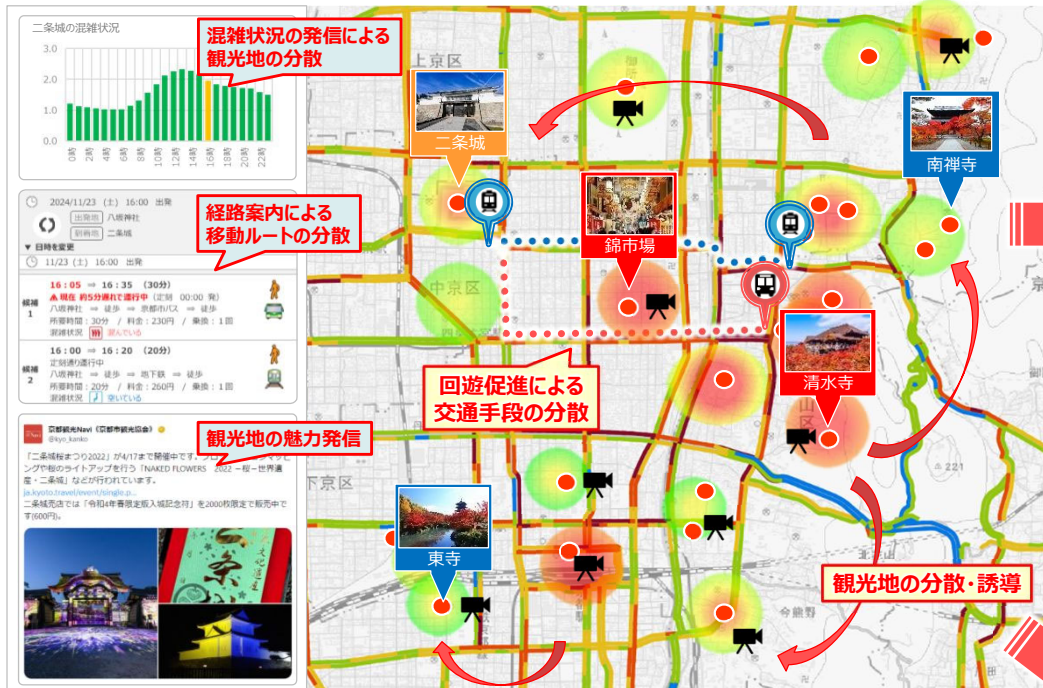
1. 混雑状況の可視化による 観光客の分散・誘導

1.1 混雑状況の可視化による観光客の分散・誘導

- 一部の地域・時間・時期に集中する混雑の緩和を図るために混雑状況を可視化・マップ化し、一元的に発信することで分散・誘導を図る。
- 観光地や道路空間、駅・バス停等におけるモニタリング環境の整備や情報提供プラットフォーム等のシステム構築に向けた検討を進める。

■可視化・マップ化（観光ヒートマップ）のイメージ

【場所の分散化】秋のヒートマップ

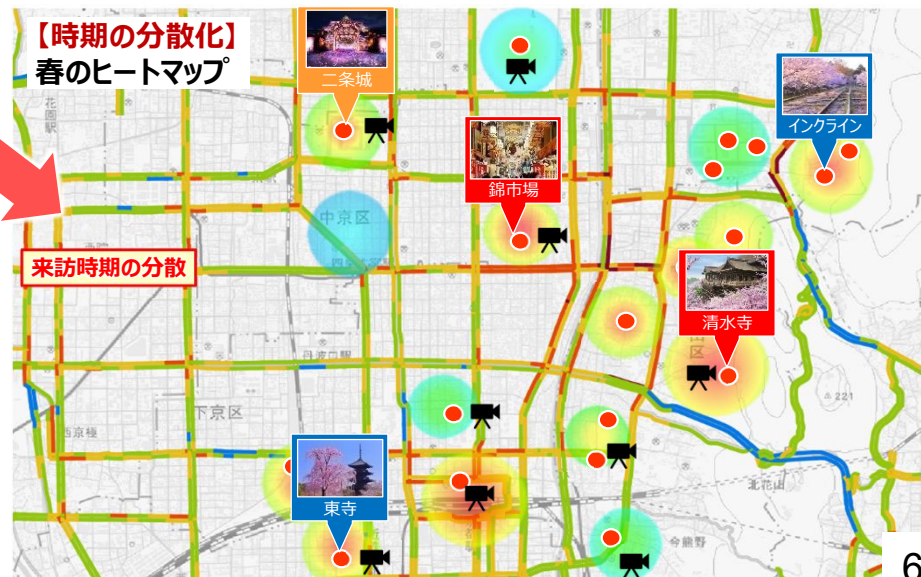
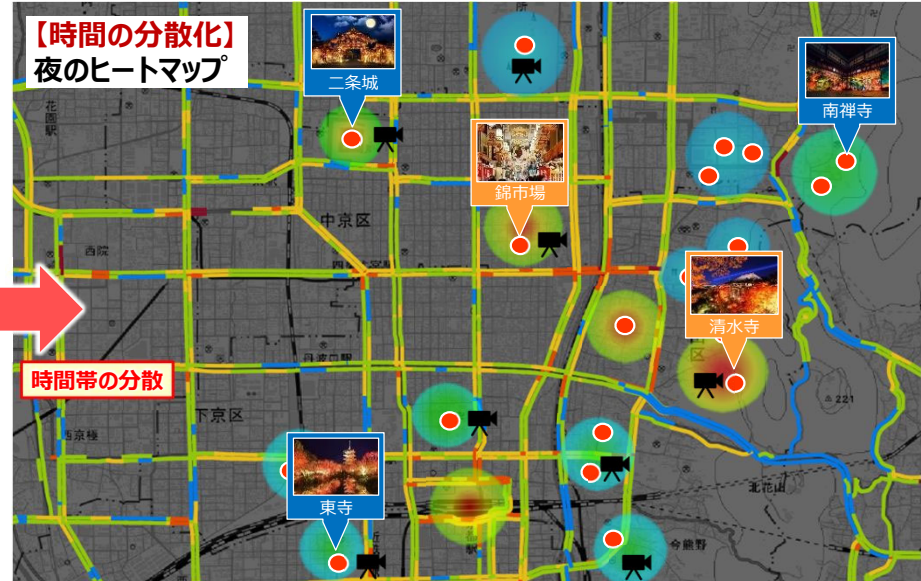


観光地付近の混雑状況の発信



目的地までのルート案内

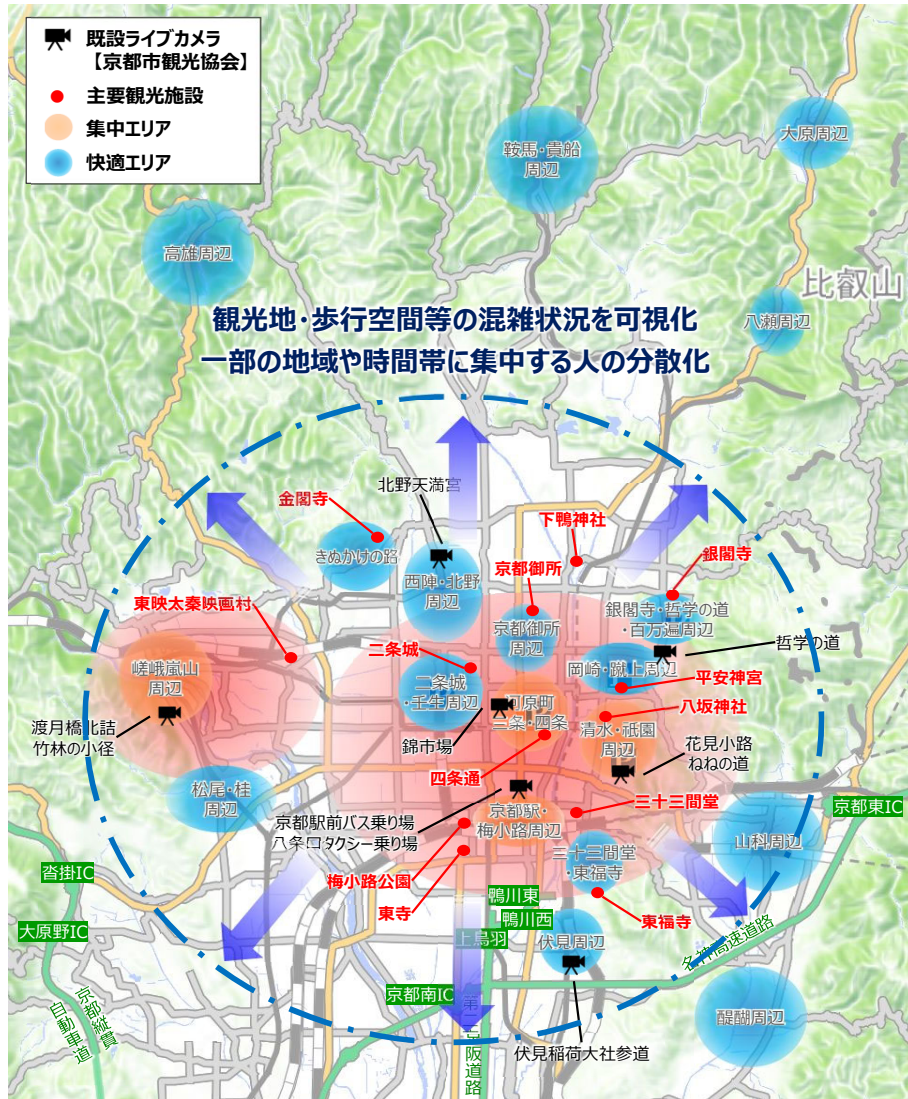
2024/11/23 (土) 16:00 出発	
出発地	八坂神社
到着地	二条城
▼日時を変更	
11/23 (土) 16:00 出発	
候補 1	16:05 ⇒ 16:35 (30分) △現在 約5分遅れで運行中 (定刻 00:00 発) 八坂神社 ⇒ 徒歩 ⇒ 京都市バス ⇒ 徒歩 所要時間: 30分 / 料金: 230円 / 乗換: 1回 混雑状況 混んでいる
候補 2	16:00 ⇒ 16:20 (20分) 定刻通り運行中 八坂神社 ⇒ 徒歩 ⇒ 地下鉄 ⇒ 徒歩 所要時間: 20分 / 料金: 260円 / 乗換: 1回 混雑状況 空いている



1.2 観光地や歩行空間等のモニタリング環境の整備

- 混雑状況の可視化・マップ化に向けた検討を進めるため、観光地や歩行空間等の混雑状況を捉えるモニタリング機器の設置を検討。
- モニタリング機器の設置箇所は、回遊性を高めてエリア内分散が図られるよう、京都市内中心部の主要観光施設周辺を想定している。

■混雑状況の可視化による分散化イメージ（観光地・歩行空間等）



分散・誘導

■日本人観光客の訪問地

単位：%

日本人観光客の訪問地	観光総合調査						観光客の動向等に係る調査			
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
清水・祇園周辺	34.8	40.9	51.0	51.3	56.4	47.7	53.9	48.6	41.4	40.2
京都駅	37.0	48.7	44.6	51.7	53.0	50.4	46.1	39.5	26.5	32.9
河原町三条・四条周辺	34.5	32.7	29.4	28.8	28.7	32.4	30.3	28.9	26.3	26.0
嵯峨嵐山周辺	38.3	43.6	48.8	26.8	26.5	22.7	23.2	29.5	26.6	19.6
二条城・壬生周辺	2.4	6.3	6.8	10.9	18.9	14.5	15.9	27.2	15.3	18.9
伏見周辺	7.6	5.9	11.3	15.3	15.8	15.0	14.8	19.8	9.5	12.3
きぬかけの路周辺	6.5	13.8	17.6	16.6	16.7	15.2	15.8	10.9	14.7	11.8
岡崎・蹴上周辺	14.8	14.5	18.5	20.7	15.2	14.9	13.4	17.5	15.8	11.7
東山七条周辺	7.6	14.4	21.1	14.6	20.7	14.3	15.6	20.2	13.6	11.3
銀閣寺・哲学の道・百万遍周辺	8.2	11.4	19.2	12.5	12.6	10.0	11.5	11.5	8.1	7.6
京都御所周辺	2.1	4.7	5.7	8.1	8.4	7.9	8.3	8.8	5.7	6.2
西陣・北野周辺	2.9	5.5	8.6	6.9	8.0	9.0	8.0	6.3	6.0	6.1
松尾・桂周辺	3.2	4.7	4.7	4.2	3.6	3.5	4.3	3.4	3.2	3.3
大原・八潮周辺	1.4	2.3	4.3	3.1	3.2	2.3	2.1	5.5	5.7	2.9
高雄周辺	4.7	4.7	3.3	1.6	1.3	1.4	1.3	3.5	5.6	2.2
山科周辺	7.3	3.4	2.7	2.2	3.3	2.5	2.2	2.4	1.5	1.5

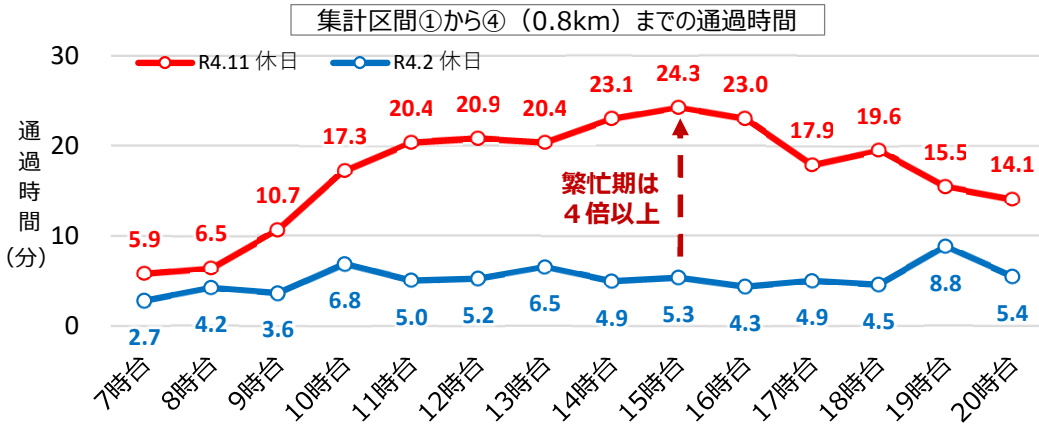
※京都市観光総合調査,観光客の動向等に係る調査：日本人観光客実態調査

2. 需要集中を抑制するための 駐車場予約システムの構築

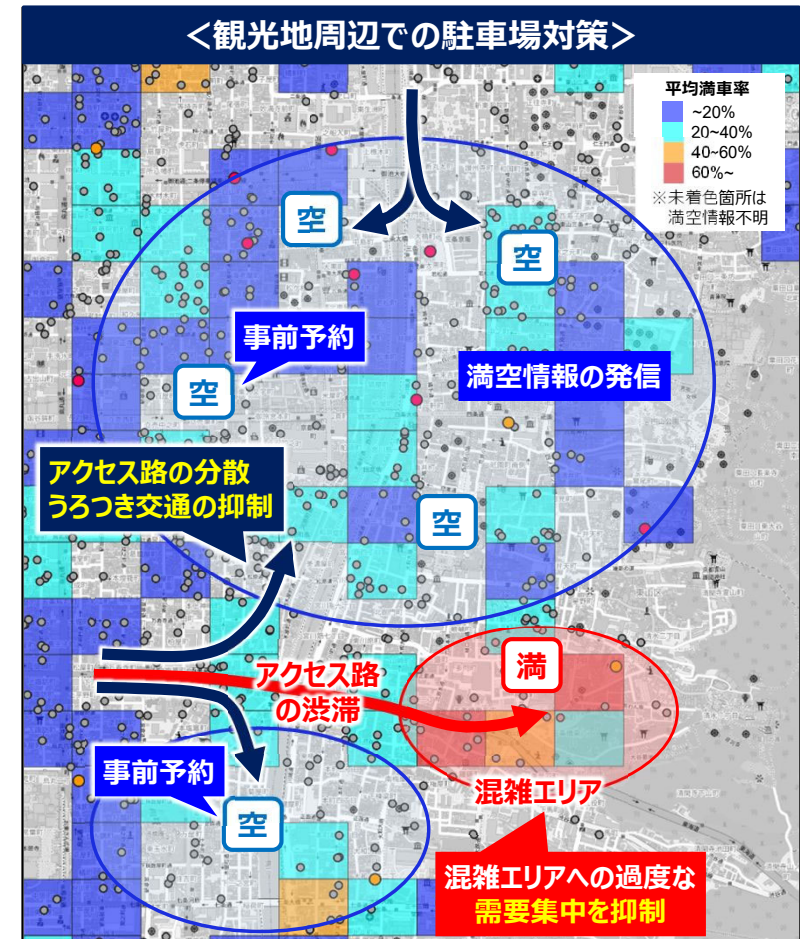
2.1 駐車場予約システムの構築に向けた検討

- 観光シーズンの東山エリアは、**清水寺周辺の駐車場に利用が集中し、その周辺道路やアクセス路において著しい渋滞が発生。**
- 駐車場予約と満空情報を併せて提供することで周辺の空き駐車場へ誘導し、**駐車需要やうろつき交通の抑制、アクセス路の分散等**を図る。

■観光シーズン（11月・休日）における五条坂周辺の混雑状況



■駐車場予約システムによる混雑緩和のイメージ

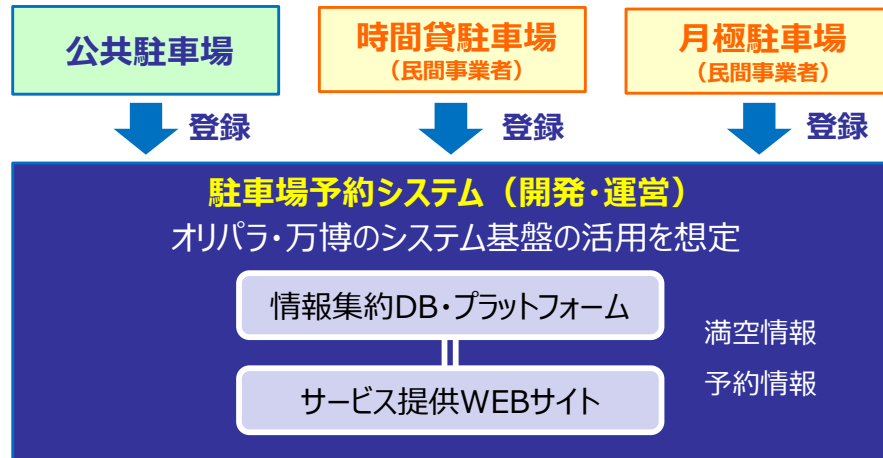


- 駐車場の事前予約と満空情報を併せてサービス提供
- ➔ 混雑エリアの駐車場への過度な需要集中を抑制
 - ➔ アクセス経路の分散やうろつき交通を抑制

2.1 駐車場予約システムの構築に向けた検討

- まずは予約情報や予約情報を集約した情報総合プラットフォームを開発し、**参画駐車場が登録するための基盤となるシステムの構築を進める。**
- 「京都版・駐車場予約システム」の実装に向けて、**試験運用をしながら予約制の在り方や他のサービスとの連携等の検討を行う。**

■ 駐車場予約システムの構築イメージ



※対象駐車場は今後調整

サービス利用・予約

利用者

空き状況・利用可能時間・料金	
料金は1日単位の料金です。予約可能な日数は駐車場により異なります。(最大14日)	
11/30 (木)	空き状態からキャンセルを設定する
12/1 (金)	空き状態からキャンセルを設定する
12/2 (土)	空き状態からキャンセルを設定する
12/3 (日)	空き状態からキャンセルを設定する
12/4 (月)	空き状態からキャンセルを設定する
12/5 (火)	空き状態からキャンセルを設定する
12/6 (水) 0:00~24:00	2,000円/日

- ・WEBから予約
- ・事前決済

※システム仕様,事業スキーム等は今後検討

■ 京都市の施策を推進するサービス連携例

- ・満空情報と予約情報を集約した情報総合プラットフォーム
- ・駐車場への誘導と併せたルート検索システム
- ・駐車料金やカーシェア利用に対するポイント付与等
- ・バス予約システムによる駐車・乗降管理および滞留抑制



3. 行動変容を促す 情報提供サービスの展開

3.1 実装段階に向けた情報提供サービスの構築・運営【実証実験】

- 情報提供による観光客の分散化を図るとともに、**混雑情報システム等の実装段階に向けて情報提供サービスの実証実験を実施。**
- 実証実験によって得られたデータを基に効果測定・評価を行い、**情報提供による行動変容や情報発信戦略等の今後の展開に繋げる。**

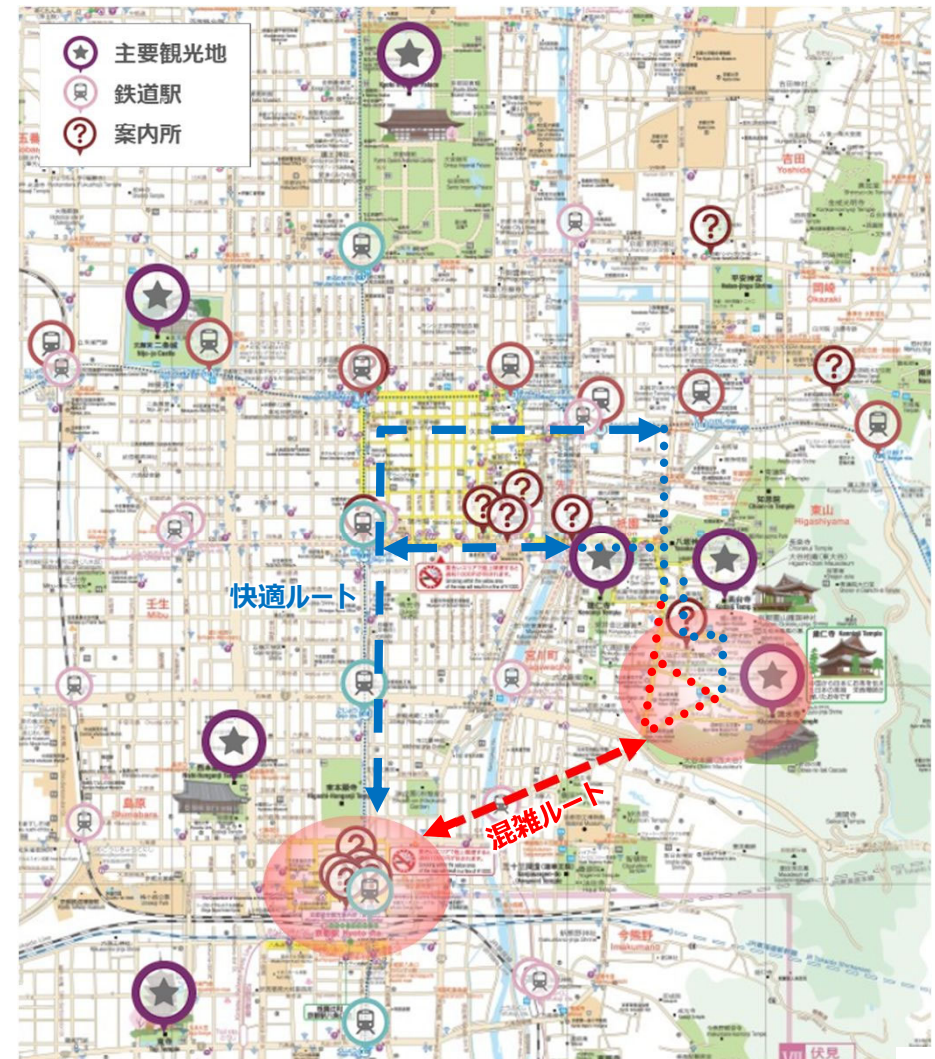
■ 情報提供サービスの実証実験イメージ



3.2 情報発信スポットの設置・情報発信

- 可視化した混雑状況を観光客へ情報発信するため、**観光地周辺や交通拠点等に情報発信スポット（サイネージ等）の設置を検討。**
- 混雑情報に限らず、観光案内情報や交通機関の運行状況等の地域振興に寄与するような多様な情報も併せて発信することも想定していることから、関係各所とも連携しながら設置箇所の選定を進めていく。

■ 情報発信スポット設置による混雑回避イメージ



4. ICT・AIを活用した現状把握 および対策支援

4.1 交通状況のリアルタイムモニタリング環境の整備

○京都市内の交通需要や渋滞状況をリアルタイムに把握するためのモニタリング機器の検討・整備を行うとともに、観光地周辺で発生する交通渋滞の実態を把握するため、渋滞発生要因等を捉えるモニタリング機器についても検討していく。

■京都市内の交通状況を把握するためのモニタリング案



出典：ETC2.0プローブ情報様式2-1（速報値）

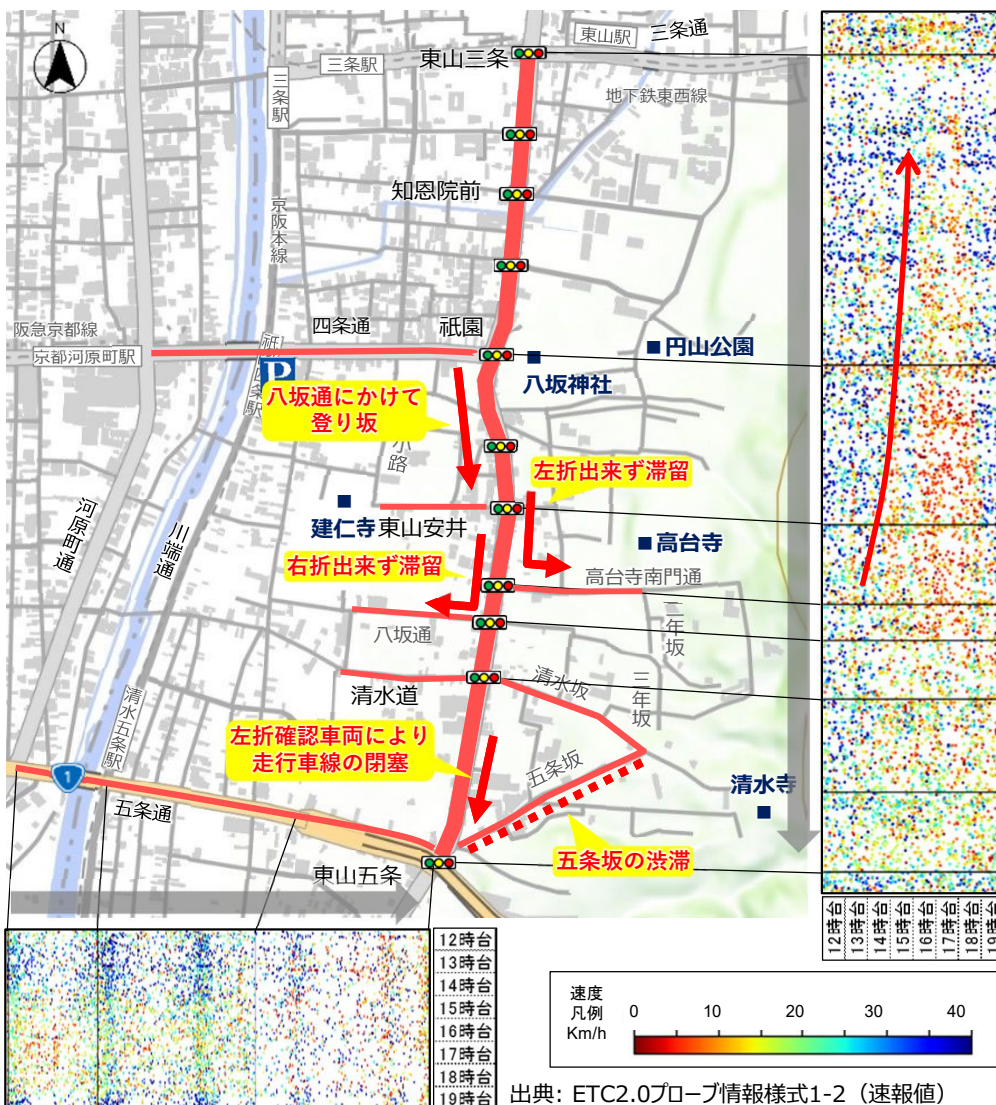
■交通実態を把握するためのモニタリング



4.2 観光地周辺で発生する交通渋滞の実態把握

○ICT・AIを活用しながら観光地周辺で発生する交通渋滞の要因やメカニズム等の実態把握を進めるとともに、実態を見える化することによって即効性のある抜本対策の必要性や課題等を明確化し、対策を実施しやすい環境を整える。

■観光地周辺の交通実態把握の分析イメージ（清水・祇園周辺）



出典：ETC2.0プローブ情報様式1-2（速報値）
※速度低下箇所の把握は2023年11月25日（土）

	分析項目
交通現象	交通量・車種構成 平均速度
交通の特性	車籍地・発着地・ 利用経路・車両挙動
速度低下要因	渋滞発生に影響する事象の観測 （渋滞要因の推定） エリア内滞留人口・歩行者動線

<現地状況の観測>

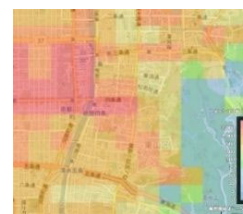


<高台寺南門通付近の渋滞発生事象例>

- 高台寺南門通 左折車両の滞留 → 横断歩行者の人数
- 八坂通右折車両の滞留 → 対向車線の交通量
- 登り坂 → 走行速度



人流データを用いた歩行者の影響による速度低下との関係



- 日別時間帯別のエリア内の滞留人口を把握し、速度低下発生時点・時間帯との関係性を分析
- 歩行者動線の抽出を試行し、右左折滞留の原因となっている歩行者流動を把握

交通状態推定モデルを活用したモニタリング

